



**Cisco Unified MeetingPlace  
SMTP E-Mail Gateway  
アドミニストレーション ガイド**

<Release 5.4>

<July 28, 2006>



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。見当たらない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) パブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved.Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0601R)

*Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway アドミニストレーション ガイド*

Copyright © 2004-2006 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



## このマニュアルについて v

目的 v

対象読者 v

命名規則 vi

表記法 vii

Cisco Unified MeetingPlace マニュアル vii

技術情報の入手方法 viii

Cisco.com viii

Product Documentation DVD (英語版) viii

マニュアルの発注方法 (英語版) viii

シスコシステムズマニュアルセンター ix

シスコ製品のセキュリティの概要 x

シスコ製品のセキュリティ問題の報告 x

テクニカル サポート xi

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト xi

Japan TAC Web サイト xi

サービス リクエストの発行 xii

サービス リクエストのシビラティの定義 xii

その他の資料および情報の入手方法 xiii

### CHAPTER 1

## Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の概要 1-1

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway について 1-1

電子メール通知の動作 1-2

### CHAPTER 2

## Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール 2-1

インストールの準備 2-2

Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM のインストール 2-3

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール 2-4

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールの確認 2-6

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の停止と再起動 2-7

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアンインストール 2-8

CHAPTER 3

<b>Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を運用するための設定</b>	<b>3-1</b>
Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用と設定	3-2
Configuring the E-Mail Gateway ダイアログボックスについて	3-3
電子メール通知のパラメータの設定	3-4
Notifications ダイアログボックスについて	3-5
Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM 設定の変更	3-6
Gateway SIM Configuration Page and the MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスについて	3-7

CHAPTER 4

<b>会議通知のカスタマイズ</b>	<b>4-1</b>
通知テンプレートについて	4-1
通知テンプレートをカスタマイズする方法	4-2
通知テンプレートへのアクセス	4-2
通知テンプレートの指定	4-3
通知テンプレートのコンテンツの変更	4-3
代替情報の指定に使用できるタグ	4-4
MeetingTime にアクセス情報を追加する方法	4-6
会議のスケジュールに関する通知のアクティブ化	4-8

CHAPTER 5

<b>トラブルシューティング</b>	<b>5-1</b>
接続に関する問題の解決	5-2
参加 (Click-to-Attend) リンクに関する問題の解決	5-3
会議通知に関する問題の解決	5-3
通知の言語に関する問題の解決	5-6
通知の時間帯に関する問題の解決	5-7
会議の添付に関する問題の解決	5-8

APPENDIX A

<b>通知テンプレートで使用できるタグ</b>	<b>A-1</b>
-------------------------	------------

INDEX

<b>索引</b>	
-----------	--



# このマニュアルについて

---

次の項を参照してください。

- [目的 \(P. v\)](#)
- [対象読者 \(P. v\)](#)
- [命名規則 \(P. vi\)](#)
- [表記法 \(P. vii\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace マニュアル \(P. vii\)](#)
- [技術情報の入手方法 \(P. viii\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要 \(P. x\)](#)
- [テクニカル サポート \(P. xi\)](#)
- [その他の資料および情報の入手方法 \(P. xiii\)](#)

## 目的

このマニュアルでは、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール方法、設定方法、および管理方法について説明します。

## 対象読者

このマニュアルは、Cisco Unified MeetingPlace のシステム管理者を対象としています。次のようなシステム管理者を前提としています。

- 音声とデータの用語および概念について十分に理解している。
- Cisco Unified MeetingPlace およびネットワークの概念について理解している。

## 命名規則

Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の以前のリリースは、「MeetingPlace サーバ」または「MeetingServer」と呼ばれました。このマニュアルでは、「Cisco Unified MeetingPlace Audio Server」は、以前のリリースおよび現在のリリースすべてを参照します。

表 1 は、Cisco Unified MeetingPlace のマニュアルで使用される用語について説明しています。

表 1 製品の命名規則

用語	定義	このマニュアルでの呼称
Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ サーバ	Cisco Unified MeetingPlace 8106 および Cisco Unified MeetingPlace 8112 サーバを含む。	Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ
Cisco Unified MeetingPlace 8106 サーバ	Cisco Unified MeetingPlace Audio Server が動作するハードウェア。	Cisco Unified MeetingPlace 8106
Cisco Unified MeetingPlace 8112 サーバ	Cisco Unified MeetingPlace Audio Server が動作するハードウェア。 Release 5.2 以前は M3 と呼ばれる。	Cisco Unified MeetingPlace 8112
Cisco Unified MeetingPlace Audio Server	Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ サーバで動作するソフトウェア。	Cisco Unified MeetingPlace Audio Server
Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システム	Cisco Unified MeetingPlace Audio Server が動作している Cisco Unified MeetingPlace 8106 または Cisco Unified MeetingPlace 8112。	Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システム または Audio Server システム
Cisco Unified MeetingPlace MeetingNotes	ユーザが会議を録音し、また会議の記録を聞く Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の機能。	MeetingNotes
Cisco Unified MeetingPlace MeetingTime	システム管理者が Cisco Unified MeetingPlace Audio Server にアクセスし設定できる Windows デスクトップソフトウェア。	MeetingTime
Cisco MCS Unified CallManager Appliance	Cisco Unified MeetingPlace アプリケーションがインストールされたハードウェア。	Cisco MCS
Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバ	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing がインストールされた Cisco MCS。	Web サーバ  このマニュアルの「Web サーバ」に関するすべての参照資料は、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバを参照します。

## 表記法

表 2 Cisco Unified MeetingPlace マニュアルの表記法

表記法	説明
太字	次の用途に使用。 <ul style="list-style-type: none"> <li>表示されるとおりに入力する必要のあるコマンド</li> <li>キーおよびボタン名</li> <li>ユーザが入力する情報</li> </ul>
イタリック体のテキスト	ユーザが値を指定する引数に使用されます。
[ ] (角カッコ)	省略可能な要素に使用されます。
Courier フォントで示される テキスト	画面に表示される情報に使用されます。
^ (キャレット)	Ctrl キーの使用を示すために使用されます。(たとえば、^D は、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。)
< > (山カッコ)	パスワードのように出力されない文字に使用されます。

Cisco Unified MeetingPlace のマニュアルは、次の表記法もまた使用しています。



**(注)** 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



**注意**

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## Cisco Unified MeetingPlace マニュアル

Cisco.com の Cisco Unified MeetingPlace マニュアルの説明および場所については、『Cisco Unified MeetingPlace ドキュメンテーションガイド』を参照してください。マニュアルは Cisco Unified MeetingPlace に付属し、次の URL からアクセスできます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products\\_documentation\\_roadmaps\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products_documentation_roadmaps_list.html)

## 技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアルやその他の資料は、Cisco.com でご利用いただけます。また、テクニカルサポートおよびその他のリソースを、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

### Cisco.com

最新の Cisco のマニュアルを入手するには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/public/countries\\_languages.shtml](http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml)

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

### Product Documentation DVD (英語版)

Product Documentation DVD は、技術情報を包含する製品マニュアルをポータブルなメディアに格納した、包括的なライブラリです。この DVD を使用することにより、シスコ製品の各ハードウェアやソフトウェアのインストール、コンフィギュレーション、およびコマンドに関する複数のバージョンのマニュアルにアクセスできます。また、この DVD を使用すると、シスコの Web サイトで参照できるのと同じ HTML マニュアルに、インターネットに接続せずにアクセスできます。一部の製品については、PDF 版のマニュアルもご利用いただけます。

Product Documentation DVD は、1 回単位で入手することも、または定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザ (Cisco Direct Customers) の場合、Cisco Marketplace から Product Documentation DVD (Product Number DOC-DOCDVD= または DOC-DOCDVD=SUB) を発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

### マニュアルの発注方法 (英語版)

Cisco.com 登録ユーザの場合、Cisco Marketplace の Product Documentation Store からシスコ製品の英文マニュアルを発注できるようになっています。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。



## シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

## シスコ製品のセキュリティの概要

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル ( 英文のみ ) を無料で提供していません。URL は次のとおりです。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_security\\_vulnerability\\_policy.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html)

このサイトでは、次の情報を入手できます。

- シスコ製品のセキュリティ脆弱性を報告する。
- シスコ製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける。
- シスコからセキュリティ情報を受け取るための登録をする。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告、セキュリティ注意事項、およびセキュリティ応答の最新のリストには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

セキュリティ勧告、セキュリティ注意事項、およびセキュリティ応答がアップデートされた時点でリアルタイムに確認する場合は、Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication ( PSIRT RSS ) フィードに登録してください。PSIRT RSS フィードに登録する方法に関する情報には、次の URL からアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_psirt\\_rss\\_feed.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html)

## シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、セキュアな製品を提供すべく全力を尽くしています。製品のリリース前には内部でテストを行い、すべての脆弱性を早急に修正するよう努力しています。万一、シスコ製品に脆弱性が見つかった場合は、PSIRT にご連絡ください。

- 緊急の場合 : [security-alert@cisco.com](mailto:security-alert@cisco.com) ( 英語のみ )  
緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている場合、または至急の対応を要する重大なセキュリティ上の脆弱性が報告されている場合を指します。これに該当しない場合はすべて、緊急でないと思なされます。
- 緊急でない場合 : [psirt@cisco.com](mailto:psirt@cisco.com) ( 英語のみ )

緊急の場合は、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302 ( 英語のみ )
- 1 408 525-6532 ( 英語のみ )



### ヒント

シスコに機密情報をお送りいただく際には、PGP ( Pretty Good Privacy ) または互換製品 ( たとえば GnuPG ) を使用して、暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 9.x と互換性のある暗号化情報に対応しています。

無効になった、または有効期限が切れた暗号鍵は、絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵には、Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションからリンクできます。次の URL にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_security\\_vulnerability\\_policy.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html)

このページ上のリンクからは、現在使用されている最新の PGP 鍵の ID にアクセスできます。

PGP を持っていない、または使用していない場合は、機密情報を送信する前に前述のメール アドレスまたは電話番号で PSIRT に問い合わせ、他のデータ暗号化方法を確認してください。

## テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、24 時間テクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、多数のサポート リソースをオンラインで提供しています。また、シスコと正式なサービス契約を交わしているお客様には、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアが電話でのサポートにも対応します。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

### Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ただけのように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。この Web サイトは、24 時間、いつでも利用可能です。URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

Web または電話でサービス リクエストを発行する前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して製品のシリアル番号を確認してください。CPI ツールには、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトから、Documentation & Tools の下の **Tools & Resources** リンクをクリックするとアクセスできます。アルファベット順の索引ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下の **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックします。CPI ツールには、3 つの検索オプションがあります。製品 ID またはモデル名による検索、ツリー表示による検索、**show** コマンド出力のコピー アンド ペーストによる特定製品の検索です。検索結果では、製品が図示され、シリアル番号ラベルの位置が強調表示されます。ご使用の製品でシリアル番号ラベルを確認し、その情報を記録してからサービス コールをかけてください。

### Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

## サービス リクエストの発行

オンラインの TAC Service Request Tool を使用すると、S3 と S4 のサービス リクエストを短時間でオープンできます (S3: ネットワークに軽微な障害が発生した、S4: 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を解決するための推奨手段が検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、シスコのエンジニアが対応します。TAC Service Request Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください (S1: ネットワークがダウンした、S2: ネットワークの機能が著しく低下した)。S1 および S2 のサービス リクエストには、シスコのエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

## サービス リクエストのシビラティの定義

シスコでは、報告されるサービス リクエストを標準化するために、シビラティを定義しています。

シビラティ 1 (S1): ネットワークが「ダウン」した状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 2 (S2): 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 3 (S3): ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

シビラティ 4 (S4): シスコ製品の機能、インストレーション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

## その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- 『Cisco Product Quick Reference Guide』は手軽でコンパクトな参照ツールです。チャネルパートナー経由で販売される多くのシスコ製品に関する簡単な製品概要、主要な機能、サンプル部品番号、および簡単な技術仕様を記載しています。年 2 回の更新の際には、シスコの最新情報が収録されます。『Cisco Product Quick Reference Guide』の注文方法および詳細については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍やリファレンス ガイド、マニュアル、ロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する出版物を幅広く発行しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

『Packet』はシスコシステムズが発行する技術者向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するために役立ちます。本誌は季刊誌として発行され、業界の最先端トレンド、最新テクノロジー、シスコ製品やソリューション情報が記載されています。また、ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、認定情報とトレーニング情報、および充実したオンラインサービスへのリンクの内容が含まれます。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet>

- 『iQ Magazine』はシスコシステムズの季刊誌で、成長企業が収益を上げ、業務を効率化し、サービスを拡大するためには技術をどのように利用したらよいかを学べるように構成されています。本誌では、事例とビジネス戦略を挙げて、成長企業が直面する問題とそれを解決するための技術を紹介し、読者が技術への投資に関して適切な決定を下せるよう配慮しています。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

デジタル版には、次の URL からアクセスできます。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワーキング製品、および各種のカスタマー サポート サービスは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は対話形式の Web サイトです。このサイトでは、ネットワーキング製品やテクノロジーに関する質問、提案、および情報をネットワーキング担当者がシスコの専門家や他のネットワーキング担当者とは共有できます。次の URL にアクセスしてディスカッションに参加してください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>





# Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の概要

この章の次の項を参照してください。

- [Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway について \(P.1-1\)](#)
- [電子メール通知の動作 \(P.1-2\)](#)

## Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway について

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、Microsoft Windows サーバにインストールする Cisco Unified MeetingPlace アプリケーションです。このアプリケーションを使用すると、Cisco Unified MeetingPlace は企業の Simple Mail Transfer Protocol (SMTP; シンプルメール転送プロトコル) 電子メールサーバを使用して、Cisco Unified MeetingPlace でスケジュールされた会議に関する電子メール通知を招待された参加者に配布することができます。Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、会議がスケジュールされたとき、変更があったとき、または会議がキャンセルされたときに電子メール通知を配布します。

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を使用すると、次の処理を実行できます。

- Cisco Unified MeetingPlace 会議のスケジュール、再スケジュール、またはキャンセルに関する電子メール通知を配布する。
- 会議通知とともに会議の添付を配布する。
- Cisco Unified MeetingPlace 会議の音声、データ、またはビデオの各部分に参加するためにユーザが使用できるリンクを電子メール通知に含める。
- 定例会議に参加者がいなくなったこと、またはスケジュールされた会議の期限切れが近いことを会議のスケジュール担当者に通知する。

## 電子メール通知の動作

会議に参加するよう招待されたユーザに対して Cisco Unified MeetingPlace がどのように電子メール通知を配布するかについて、概要を次に示します。

1. ユーザが Cisco Unified MeetingPlace で会議をスケジュールします。
2. Cisco Unified MeetingPlace Audio Server は、スケジュールの通知をポスト オフィス ボックスに配置します。
3. Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、さらに次の作業を行います。
  - ポスト オフィスからスケジュール通知を取得します。
  - スケジュール担当者のユーザ プロファイルが通知を送信するように設定されていることを確認します。
  - スケジュールを確認し、招待された参加者に配布する電子メール メッセージの作成に使用する通知テンプレートを決定します。
  - 会議招待者のユーザ プロファイルが通知を受信するように設定されていることを確認します。
  - スケジュールと Cisco Unified MeetingPlace のユーザ プロファイルの情報を使用して、招待された各々の参加者向けの電子メール メッセージを作成します。
  - これらのメッセージを企業の SMTP 電子メール サーバに渡して参加者に配布します。





# Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール

---

この章では、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール方法について説明します。

次の項を参照してください。

- [インストールの準備 \(P.2-2\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM のインストール \(P.2-3\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール \(P.2-4\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールの確認 \(P.2-6\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の停止と再起動 \(P.2-7\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアンインストール \(P.2-8\)](#)

## インストールの準備

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールを準備するために、次の作業を実行します。

- [http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod\\_installation\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html) の『Cisco Unified MeetingPlace システム要件』を参照し、サポートされるシステム要件を確認します。
- 表 2-1 に記入して、インストールの完了に必要なすべての情報を用意します。
- 該当する場合は、P.2-8 の「Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアンインストール」の手順に従って、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の現在のリリースをアンインストールします。



(注)

カスタマイズした通知テンプレートがある場合は、このソフトウェアをインストールする前にそれらのテンプレートを別のファイルに保存するか、異なる拡張子を付けることを推奨します。今回のインストールにより、現在使用しているテンプレートがこのソフトウェアの新機能を含む新しいテンプレートで上書きされるおそれがあります。保存したテンプレートは、新しいテンプレートのカスタマイズに使用できます。現在の通知テンプレートへのアクセス方法については、P.4-2 の「通知テンプレートへのアクセス」を参照してください。

表 2-1 インストール前のチェックリスト

	説明	値
1	すべての要件が整っていること	<a href="http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html">http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html</a> で、『Cisco Unified MeetingPlace システム要件』を参照してください。
2	Cisco Unified MeetingPlace Audio Server のホスト名または IP アドレス	Cisco Unified MeetingPlace のホスト名 /IP アドレス : _____
3	SMTP サーバ	企業の電子メール サーバ名 : _____
4	Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が企業の SMTP 電子メール サーバにアクセスする際に認証が必要な場合は、そのアカウント名とパスワードを指定すること	アカウント名 : _____ パスワード : _____
5	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing システム (インストールされている場合) のホスト名または IP アドレス	Cisco Unified MeetingPlace の Web ホスト名 /IP アドレス : _____
	 (注) 2つのホスト名(内部 Web サーバ用と外部 Web サーバ用にそれぞれ1つずつ)を入力できます。両方のサーバに同じ名前を使用してもかまいません。	

## Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM のインストール

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway Release 5.4 以降のリリースは、Cisco Unified MeetingPlace Gateway System Integration Manager (SIM) Release 5.2 以降のリリースがインストールされたコンピュータにインストールする必要があります。

コンピュータに Gateway SIM がすでにインストールされている場合は、[P.2-4](#) の「[Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール](#)」に進んでください。

### Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM のインストール

- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールに使用するコンピュータに Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM Service の CD を挿入します。

InstallShield Wizard が自動的に起動し、Welcome to the InstallShield Wizard for Gateway SIM ダイアログボックスが表示されます。

- ステップ 2** Next をクリックします。Choose Destination Location ダイアログボックスが表示されます。

- ステップ 3** Gateway SIM を配置するプログラム フォルダを選択し、Next をクリックします。

Gateway SIM のファイルがインストールされます。InstallShield Complete ページが表示されます。

- ステップ 4** Finish をクリックします。

MeetingPlace Entry ダイアログボックスが表示されます。

- ステップ 5** Gateway SIM が接続するプライマリ Cisco Unified MeetingPlace Audio Server のホスト名または IP アドレスを入力します。

MeetingPlace Client IP Address ダイアログボックスが表示されます。

- ステップ 6** Gateway SIM をインストールするコンピュータの IP アドレスをフィールドに入力し、Next をクリックします。

インストールが完了し、システム トレイに Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM アイコン（オレンジ色のドア）が表示されます。

## Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway をインストールする前に、ソフトウェアをインストールする Windows システムの管理者権限を持っていることを確認します。

カスタマイズした通知テンプレートがある場合は、このソフトウェアをインストールする前にそれらのテンプレートを別のファイルに保存するか、異なる拡張子を付けることを推奨します。今回のインストールにより、現在使用しているテンプレートがこのソフトウェアの新機能を含む新しいテンプレートで上書きされるおそれがあります。保存したテンプレートは、新しいテンプレートのカスタマイズに使用できます。現在の通知テンプレートへのアクセス方法については、[P.4-2 の「通知テンプレートへのアクセス」](#)を参照してください。

### Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール

**ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールに使用するコンピュータに Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の CD を挿入します。

InstallShield Wizard が自動的に起動し、Welcome to the InstallShield Wizard for E-Mail Gateway ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 2** Next をクリックします。

InstallShield Wizard により、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールに必要なファイルがコンピュータ上に抽出され、セットアップの残りのプロセスが準備されます。Welcome to the InstallShield Wizard ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 3** Next をクリックします。Choose Destination Location ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 4** Choose Destination Location ダイアログボックスで、Next をクリックします。

デフォルト値を使用すると、C:\ Programs Files フォルダにファイルがインストールされます。これらのファイルを別の場所にインストールする場合は、Browse ボタンを使用して場所を選択します。MeetingPlace Web Hostname ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 5** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco Unified MeetingPlace Web サーバを次のように指定します。

- Web サーバがインストールされていない場合は、これらのフィールドを空白のままにします。
- Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を使用する場合は、Web 1 フィールドに Cisco Unified MeetingPlace Web サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- DMZ を使用する場合は、Web 2 フィールドに DMZ Web サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。



**(注)** Cisco Unified MeetingPlace Web のホスト名は、サーバがそのエントリの ping 要求に応答できるものであれば、任意の形式 ( *ServerName.CompanyName.com* など ) にできます。

**ステップ 6** Next をクリックします。SMTP Server Information ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 7** SMTP Server Information ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- a. Server フィールドに、使用する企業の SMTP 電子メール サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- b. Port フィールドに、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で企業の SMTP 電子メールサーバとの通信に使用するポート番号を入力します。
- c. **Next** をクリックします。SMTP Server Authentication ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 8** SMTP Server Authentication ダイアログボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する企業の SMTP 電子メールサーバへのログインに認証が不要な場合は（これがデフォルトの値です）、**No, My Server Does Not Require Authentication** をクリックします。Next をクリックします。
- Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する企業の SMTP 電子メールサーバへのログインに認証が必要な場合は、**Yes, My Server Requires Authentication** をクリックします。Next をクリックします。

**ステップ 9** 表示される認証メッセージのボックスで、**Yes** をクリックします。

SMTP Server Login ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 10** 次の手順を実行します。

- a. Account フィールドに、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で企業の SMTP 電子メールサーバへのログインに使用する名前を入力します。
- b. Password フィールドに、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で企業の SMTP 電子メールサーバへのログインに使用するパスワードを入力します。
- c. Re-enter フィールドに、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で企業の SMTP 電子メールサーバへのログインに使用するパスワードを入力します。
- d. **Next** をクリックします。Program Folder ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 11** Program Folder ダイアログボックスで、**Next** をクリックします。Start Copying Files ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 12** ターゲットフォルダが正しいことを確認し、**Next** をクリックして続行します。

フォルダへのファイルのコピーが開始されます。

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway をアップグレードしている場合は、テンプレートに関するプロンプトが表示されます。

**ステップ 13** 通知のページで、次のいずれかを実行します。

- 現在のテンプレートを上書きする場合は、**Yes** をクリックします。



**(注)** 新しいテンプレートでパラメータを設定する必要があります。MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway フォルダにあるすべての .tpl ファイルをハードドライブのバックアップフォルダに保存してください。

- 現在のテンプレートを保持する場合は、**No** をクリックします。  
このソフトウェアバージョンの新しい機能が使用されないために、ソフトウェアが正しく機能しなくなる場合があります。

**ステップ 14** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway をアップグレードしている場合は、読み取り専用ファイルに関するプロンプトが表示されます。読み取り専用のプロンプトが表示された場合は、**Yes** を選択することを推奨します。

これらの .dll ファイルは、既存の Windows サーバ ファイルの新バージョンです。これらのファイルがアップデートされていないと、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が正しく機能しない場合があります。

InstallShield Wizard Complete ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 15** **Finish** をクリックします。



**(注)** InstallShield Wizard で、インストール時に特定のファイルが使用されていたためにそのファイルをコピーできなかった場合は、システムのリブートを求めるプロンプトが表示されます。システムがリブートすると、コピーされたすべてのファイルが正しくインストールされます。

## Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールの確認

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールが完了したら、次のテストを実行して、すべてのコンポーネントが正しく機能していることを確認します。

- Cisco Unified MeetingPlace の会議をスケジュールし、1 ~ 2 人のユーザを招待します。招待したユーザが電子メールの会議通知を受信することを確認します。  
ユーザが通知を受信しない場合は、[P.5-2 の「接続に関する問題の解決」](#)または [P.5-3 の「会議通知に関する問題の解決」](#)を参照してください。
- Cisco Unified MeetingPlace の会議をキャンセルまたは再スケジュールします。招待したユーザが会議の変更に関する電子メール通知を受信することを確認します。  
ユーザが通知を受信しない場合は、[P.5-3 の「会議通知に関する問題の解決」](#)を参照してください。
- Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing がインストールされている場合は、このアプリケーションを使用して会議をスケジュールし、参加 (Click-to-Attend) リンクが機能することを確認します。

## Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の停止と再起動

**注意**

必ず最初に Cisco Unified MeetingPlace Notification Gateway サービスを停止してから、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway サービスを再起動してください。

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を停止し、再起動するには、次の手順を実行します。

### Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の停止と再起動

**ステップ 1** MeetingPlace Notification Gateway サービスを停止します。

- a. Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているコンピュータで、**Start > Settings > Control Panel > Services** をクリックします。
- b. **MeetingPlace Notification Gateway** を右クリックし、**Stop** を選択します。

The MeetingPlace Notification Gateway サービスと MeetingPlace SMTP Gateway サービスが停止します。

**ステップ 2** **ステップ 1** で MeetingPlace Notification Gateway サービスを停止する前に MeetingPlace SMTP Gateway を停止した場合は、MeetingPlace Notification Gateway サービスと MeetingPlace SMTP Gateway サービスの両方が停止していることを確認してください。

**ステップ 3** MeetingPlace SMTP Gateway サービスを起動します。

MeetingPlace SMTP Gateway サービスと MeetingPlace Notification Gateway サービスが起動します。

## Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアンインストール

最新のリリースの Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway をインストールする前に、以前のリリースをアンインストールすることを推奨します。

### Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアンインストール

- 
- ステップ 1** Start > Settings > Control Panel > Add/Remove Programs を選択します。Add/Remove Programs ダイアログボックスが表示されます。
  - ステップ 2** MeetingPlace E-Mail Gateway をクリックし、Change/Remove をクリックします。
  - ステップ 3** ファイルの削除の確認を求めるプロンプトが表示されたら、Yes をクリックします。
  - ステップ 4** Windows Explorer を起動します。
  - ステップ 5** <drive>:\Program Files\Cisco Systems を選択します。
  - ステップ 6** 「MeetingPlace E-Mail Gateway」フォルダを削除します。
  - ステップ 7** Windows デスクトップで、Start > Run を選択します。
  - ステップ 8** regedit と入力します。
  - ステップ 9** HKEY\_LOCAL\_MACHINE > SYSTEM > CurrentControlSet > Services をクリックします。
  - ステップ 10** MPNotify フォルダを削除します。
  - ステップ 11** HKEY\_LOCAL\_MACHINE > SOFTWARE > Latitude をクリックします。
  - ステップ 12** MeetingPlace E-Mail Gateway フォルダを削除します。
  - ステップ 13** Start > Settings > Control Panel > Services をクリックします。
  - ステップ 14** コンピュータをリブートします。
  - ステップ 15** コンピュータがリブートしたら、Windows Explorer を起動して C: > WINNT > system32 をクリックします。
  - ステップ 16** mpnotify.exe を削除します。
-





# Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を運用するための設定

この章では、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を運用するための設定方法について説明します。

次の項を参照してください。

- [Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用と設定 \( P.3-2 \)](#)
- [電子メール通知のパラメータの設定 \( P.3-4 \)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM 設定の変更 \( P.3-6 \)](#)

## Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用と設定

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール後は、Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configurations ツールを使用して、運用のために SMTP E-Mail Gateway を適切に設定する必要があります。Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configurations ツールは、Gateway SIM のユーザインターフェイスです。

Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configuration ツールを起動するには、Gateway SIM がインストールされているコンピュータのデスクトップで、次のいずれかを実行します。

- Start > Program > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Gateway Configuration をクリックします。
- システムトレイの Cisco Unified MeetingPlace アイコン ( オレンジ色の開いたドア ) をクリックします。

Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configuration ツールが表示されます。

Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configuration ツールを設定するには、次の操作を行います。

### Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で電子メール サーバを使用するための設定




- 
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configuration ツールを起動します。
- ステップ 2** Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configurations ツールの E-Mail Gateway タブをクリックします。E-Mail Gateway ページが表示されます。表 3-1 は、このページの各要素について説明しています。
- ステップ 3** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知を送信できるようにするために電子メールサーバで認証が必要かどうかを、次のように指定します。
- 電子メールサーバで、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知の送信のためにログインする必要がない場合は、**Not Required** オプション ボタンをクリックします。
  - 電子メールサーバで、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知の送信のためにログインする必要がある場合は、**Required** オプション ボタンをクリックします。
    - Account name フィールドに、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が電子メールサーバへのログインに使用するユーザ名を入力します。
    - Password フィールドに、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が電子メールサーバへのログインに使用するパスワードを入力します。
- ステップ 4** MeetingPlace Mailbox フィールドに、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway でサポートする MeetingTime の電子メールサーバに関連付けられた E-mail/GW Mapping の番号を入力します。
- ステップ 5** Polling Frequency フィールドに、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が新しい通知に関して Cisco Unified MeetingPlace Audio Server に問い合わせを送信する間隔を、ミリ秒単位の値で入力します。
- ステップ 6** **Verbose Logging** をオンにして、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway から Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM のログファイルに詳細なアクティビティ レコードを送信するようにします。この設定を変更するには、MPSMTP サービスを再起動する必要があります。P.2-7 の「Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の停止と再起動」を参照してください。

ステップ7 OK をクリックします。

## Configuring the E-Mail Gateway ダイアログボックスについて

表 3-1 は、Configuring the E-Mail Gateway ダイアログボックスに表示される各要素について説明しています。

表 3-1 E-Mail Gateway ダイアログボックスの各要素の設定

要素	説明
Version	Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のバージョンを示します。
SMTP Server	E-Mail Gateway が接続するメール サーバのホスト名。
SMTP Port	メール サーバで使用するポート番号。
Server Authentication	<p>電子メール サーバで、電子メール通知の送信にユーザ認証が必要な場合に、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用するログイン情報を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Not Required</b> : このオプション ボタンを選択すると、発信電子メールの認証が無効になります。</li> <li>• <b>Required</b> : このオプション ボタンを選択すると、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は通知の送信に認証を必要とする電子メール サーバに認証情報を送信できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>Account name</b> : Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が電子メール サーバへのログインに使用するユーザ名。</li> <li>- <b>Password</b> : Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が電子メール サーバへのログインに使用するパスワード。</li> </ul> </li> </ul>
MeetingPlace Mailbox	<p>Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が会議のスケジュールに関する新情報の取得に使用する企業の電子メール サーバに対して、Cisco Unified MeetingPlace レジストリで割り当てられたマッピング番号。</p> <p> (注) このメールボックス番号に関連付けることができる Cisco Unified MeetingPlace E-mail Gateway は 1 つだけです。</p>
Polling Frequency	Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が Cisco Unified MeetingPlace のメールボックスに新しい通知をポーリングするミリ秒単位の値。
Verbose Logging	<p>Gateway SIM のログ ファイルに Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアクティビティのレコードを保存できます。</p> <p> (注) Verbose Logging では、ログのサイズが約 40 MB に達するとデータの上書きが開始されます。</p> <p> (注) Verbose Logging のステータスを有効にする場合は、MPSMTP サービスを再起動して、この機能をアクティブにする必要があります。<a href="#">P.2-7 の「Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の停止と再起動」</a>を参照してください。</p>

## 電子メール通知のパラメータの設定

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を設定して、会議参加者が会議へのアクセスに使用できるリンクを通知内に配置することができます。デフォルトのリンクは参加 (Click-to-Attend) アイコンです。このアイコンは、参加者が受信する電子メール通知の下部に表示されます。参加者がリモートにいる場合、その参加者は Cisco Unified MeetingPlace Audio Server にアクセスする際に認証が必要になることがあります。Secured Socket Layer (SSL) を使用可能にして、認証を提供できます。また、受信者の電子メールサーバによって参加アイコンが除去されている場合、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、このアイコンの代わりに URL を使用するように通知内に指定することもできます。

### 電子メール通知のパラメータの設定

- 
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configuration ツールを起動します。
- ステップ 2** **Notification** をクリックします。Notification ダイアログボックスが表示されます。表 3-2 は、このダイアログボックスの各要素について説明しています。
- ステップ 3** Web Hostname フィールドに、該当の Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する MeetingPlace Web サーバのホスト名を入力します。
- ステップ 4** 参加者が Cisco Unified MeetingPlace サーバにアクセスするための権限を必要とする場合は、Use SSL をオンにして、通知内に配置された会議へのリンクを Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で暗号化します。
- ステップ 5** External Web Hostname フィールドに、該当の Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する外部 Cisco Unified MeetingPlace Web サーバのホスト名を入力します。
- ステップ 6** 参加者が Cisco Unified MeetingPlace サーバにアクセスするための権限を必要とする場合は、Use SSL をオンにして、通知内に配置された会議へのリンクを Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で暗号化します。




**ヒント** デフォルトのリンク (参加) は、Cisco Unified MeetingPlace プロファイルを持たないユーザに送信される通知には表示されません。そのような参加者に対しては、会議ページに接続するための URL を提供できます。

- ステップ 7** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で、ユーザが会議へのアクセスに使用できる URL リンクを通知に含めるようにするには、**Attach Links as URL** をオンにします。
- ステップ 8** **Verbose Logging** をオンにして、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway から Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM のログ ファイルに詳細なアクティビティ レコードを送信するようにします。この設定を変更しても、サービスを再起動する必要はありません。
- ステップ 9** **OK** を選択します。
-

## Notifications ダイアログボックスについて

表 3-2 は、Notifications ダイアログボックスに表示される各要素について説明しています。

表 3-2 Notifications ダイアログボックスの要素

要素	説明
Version	該当の通知ソフトウェアのバージョンを示します。
Web Hostname	<p>Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco Unified MeetingPlace Web サーバのホスト名。ファイアウォールの内側の参加者に送信される電子メール通知に対して Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で会議リンクを追加できるようにするには、この指定が必要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Use SSL</b> : Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知内に配置する会議リンクの暗号化に SSL 形式を使用できるようにします。</li> </ul>
External Web Hostname	<p>ファイアウォールの外側に配置された Cisco Unified MeetingPlace Audio Server で使用される Web ホスト名。ファイアウォールの外側の参加者に送信される電子メール通知に対して Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で会議リンクを追加できるようにするには、この指定が必要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Use SSL</b> : Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知内に配置する会議リンクの暗号化に SSL 形式を使用できるようにします。</li> </ul>
Attach Links as URL	Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が企業ファイアウォールの外側の会議参加者に送信する通知内に会議への URL リンクを埋め込みます。
Verbose Logging	<p>Gateway SIM のログ ファイルに通知アクティビティのレコードを保存できるようにします。</p> <p> (注) Verbose Logging では、ログのサイズが約 40 MB に達するとデータの上書きが開始されます。</p>

## Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM 設定の変更

Gateway SIM は、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server と Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション( Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway など)との間の通信を支援します。Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM は、SMTP E-Mail Gateway の信頼性とサービサビリティを次のように強化します。

- ゲートウェイの停止を検出し、そのエラーのログを Cisco Unified MeetingPlace Alarm Table に記録します。
- シスコのテクニカル サポート担当者がリモートから SMTP E-Mail Gateway を管理および診断できるようにします。

Cisco MeetingPlace Gateway SIM はサービスとして動作し、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server 上の Gateway SIM Manager にアップデートを送信します。Gateway SIM Manager が想定どおりにこれらのアップデートを受信できなかった場合に、アラームが Alarm Table に記録されます。

Gateway SIM のパラメータを変更するには、次の手順を実行します。

### Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM のパラメータの変更

---

**ステップ 1** Gateway SIM がインストールされているコンピュータで、**Start > Programs > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Gateway Configuration** をクリックします。

**ステップ 2** Gateway SIM をクリックして Gateway SIM ページを表示します。

Gateway SIM ページの各要素については、表 3-3 を参照してください。

**ステップ 3** 次のいずれかを実行して、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco Unified MeetingPlace Audio Server を指定します。

- Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco Unified MeetingPlace Audio Server を指定するには、**Add** をクリックします。MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスが表示されます。
- Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco Unified MeetingPlace Audio Server に関するパラメータを変更するには、左側のペインで Audio Server の名前をダブルクリックします。MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスが表示されます。

MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスの各要素については、表 3-4 を参照してください。

**ステップ 4** Gateway SIM ページで、**OK** をクリックして変更内容を保存およびアップロードします。

---

## Gateway SIM Configuration Page and the MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスについて


表 3-3 は、Gateway SIM ページの各要素について説明しています。

表 3-3 Gateway SIM ページの要素

要素	説明
Version	Gateway SIM ソフトウェアのバージョンを示します。
Installation Key	該当の Gateway SIM エージェントのインストール キーをリストします。
Remote Management Enabled	シスコのテクニカル サポート担当者が Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway にアクセスしてトラブルシューティングを行えるようにします。
Gateway Alarms Enabled	ゲートウェイが Cisco Unified MeetingPlace Alarm Table にアラームを記録できるようにします。
Add	MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway でサポートする Cisco Unified MeetingPlace Audio Server を指定できません。
Delete	次の要素である「左側のペイン」で選択された Cisco Unified MeetingPlace Audio Server エントリを削除します。
左側のペイン	Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用できる Cisco Unified MeetingPlace Audio Server をリストします。
右側のペイン	Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の設定に関する情報を表示します。

表 3-4 は、MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスの各要素について説明しています。

表 3-4 MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスの要素

要素	説明
Server Name	Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway でサポートする Cisco Unified MeetingPlace Audio Server のホスト名または IP アドレス。
Shadow Server Name	Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用するシャドウ Cisco Unified MeetingPlace Audio Server のホスト名または IP アドレス。
Client IP address	Gateway SIM がインストールされているコンピュータの IP アドレス。
Transfer Destination	バックアップ処理中にデータのキャッシュに使用される一時フォルダの名前。 
	(注) このフィールドは空白のままでもかまいません。
Link Encryption Disabled	Gateway SIM と Cisco Unified MeetingPlace Audio Server との間の通信の暗号化を無効にします。デフォルトでは、暗号化は有効になっています。
OK	変更内容を保存できます。
Cancel	変更内容を保存せずにダイアログボックスを閉じることができます。







## 会議通知のカスタマイズ

この章では、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で会議参加者に配布される通知の情報をカスタマイズする方法について説明します。

次の項を参照してください。

- [通知テンプレートについて \(P.4-1\)](#)
- [通知テンプレートをカスタマイズする方法 \(P.4-2\)](#)
- [MeetingTime にアクセス情報を追加する方法 \(P.4-6\)](#)
- [会議のスケジュールに関する通知のアクティブ化 \(P.4-8\)](#)

### 通知テンプレートについて

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、スケジュールされた会議のステータスに関する電子メール通知を参加者に送信しますが、その通知を作成するために通知テンプレートを使用します。通知には、会議の情報に加え、参加者がその会議へのアクセスに使用できるリンクを含めることができます。デフォルトの通知テンプレートには、次の情報を含めることができます。

- 会議名
- 会議の開始日時
- 会議 ID
- 会議の説明
- ダイヤルイン電話番号
- 連絡先情報
- 再スケジュール情報
- キャンセル情報

Cisco Unified MeetingPlace の通知テンプレートは、ご使用の環境のニーズを満たすように変更することができます。通知テンプレートには、次のような情報を追加できます。

- 会議への参加および添付の利用に関する手順説明
- Cisco Unified MeetingPlace システムにアクセスするための代替電話番号（フリーダイヤルの番号や社内の内線番号など）
- 複数の Cisco Unified MeetingPlace Audio Server でホスティングされる会議へのアクセスに関する手順説明
- 会議の招待参加者のリスト
- 会議の記録にアクセスする方法に関する情報

## 通知テンプレートをカスタマイズする方法

通知テンプレートのカスタマイズについては、次の項を参照してください。

- [通知テンプレートへのアクセス \(P.4-2\)](#)
- [通知テンプレートの指定 \(P.4-3\)](#)
- [通知テンプレートのコンテンツの変更 \(P.4-3\)](#)

### 通知テンプレートへのアクセス

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で会議参加者への通知の作成に使用する通知テンプレートは7つあります。これらのテンプレートは、一定の範囲の通知トピックを対象として、次の各言語で提供されます。

- 英語
- フランス語



(注) Cisco Unified MeetingPlace は、カナダ フランス語の音声案内だけをサポートします。

- ドイツ語
- 日本語
- ポルトガル語
- スペイン語

### 通知テンプレートへのアクセス

**ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているサーバで、Windows Explorer を起動します。

**ステップ 2** C: > Program Files > Cisco Systems > MeetingPlace E-Mail Gateway をクリックします。

**ステップ 3** 次のいずれかを実行します。

- メモ帳を使用して、変更する英語の .tpl ファイルを開きます。



**注意** メモ帳以外のエディタを使用すると、変更内容を保存するときにテンプレートのファイル拡張子を変更される場合があります。Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、間違ったファイル拡張子のテンプレートは使用しません。

- 目的の言語フォルダをクリックし、メモ帳を使用して、変更する .tpl ファイルを開きます。

## 通知テンプレートの指定

Cisco Unified MeetingPlace で使用される通知テンプレートは、次のとおりです。

- **NotifySchedule.tpl**：新規にスケジュールされた会議に関する通知の生成に使用されます。
- **NotifyReSchedule.tpl**：再スケジュールされた会議に関するアップデート通知の生成に使用されます。
- **NotifyCancel.tpl**：キャンセルされた会議に関するキャンセル通知の生成に使用されます。
- **NotifyNoShowRecur.tpl**：参加者不在の定例会議の回数に応じて、キャンセルする必要がある定例会議に関するリマインダー通知の生成に使用されます。
- **NotifyRenewRecur.tpl**：プリセットされた会議数の範囲内にある定例会議に関する期限満了前のリマインダー通知の生成に使用されます。
- **NotifyScheduleVideo.tpl**：新規にスケジュールされたビデオ エンドポイントを含む会議に関する通知の生成に使用されます。
- **NotifyReScheduleVideo.tpl**：再スケジュールされたビデオ エンドポイントを含む会議に関するアップデート通知の生成に使用されます。

## 通知テンプレートのコンテンツの変更

通知テンプレートは、発信電子メール メッセージの本文に表示されるコンテンツを提供します。これらのテンプレートでは、コンテンツを提供するために固定のテキストとタグを使用します。テンプレートのコンテンツを変更する場合は、固定のテキストを変更し、タグを追加または削除します。

### タグについて

タグは定義済みの変数であり、通知テンプレートの本文に含めることができる特定の Cisco Unified MeetingPlace 情報のプレースホルダとして機能します。Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がテンプレートを使用して電子メールメッセージを生成すると、埋め込まれたタグが会議に関する特定の情報に置き換えられます。この情報は、スケジュール要求と Cisco Unified MeetingPlace レジストリから抽出されます。

タグの形式は、次のようになっています。

```
<!--#Cisco...>
```



(注)

5.4 より以前のリリースで使用する構文 `<!--#LATD...>` は、Cisco Unified MeetingPlace Release 5.4 以降でも使用できます。

各タグは、Cisco Unified MeetingPlace の特定のパラメータに関連付けられ、通知テンプレート内でそのパラメータへのリンクとして機能します。たとえば、タグ `<!--#Cisco Month -->` は、会議の開催がスケジュールされている月を示すパラメータに関連付けられています。会議の日付が 10/14/2006 である場合、このタグが通知テンプレートに配置されていれば、電子メール メッセージに必ず October という語が表示されます。

通知テンプレートで使用できるタグのリストと定義を確認するには、[付録 A「通知テンプレートで使用できるタグ」](#)を参照してください。この付録では、タグとともに本文のテキストで使用できるラベルも示されています。ラベルは、メッセージの受信者にタグの情報が何であるかを示すものです。

タグを使用するには、テンプレート本文内でタグを表示させる場所に、山カッコ (<>) も含めてタグの完全な内容を入力します。タグを置き換える情報の長さは可変です。

## 通知テンプレートをカスタマイズする方法

## 通知テンプレートの編集

変更するテンプレート ファイルのバックアップを作成しておくことを推奨します。ファイルを別のフォルダにコピーするか、異なる拡張子を使用して保存します。

**ステップ 1** メモ帳を使用して、変更する通知テンプレートを開きます。



**ヒント** 通知テンプレートは、メモ帳を使用して編集することを推奨します。メモ帳では、ファイルが自動的に現在のファイル拡張子 .tpl を使用して保存されるためです。その他のテキスト エディタを使用すると、ファイルに異なる拡張子が付加される場合があります。Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が認識する拡張子は .tpl だけです。

**ステップ 2** テンプレートを変更するには、次の操作を行います。

- 固定テキストの編集、追加、または削除
- タグの置換、追加、または削除

**ステップ 3** 変更内容を保存します。

**ステップ 4** 保存したファイルの拡張子が .tpl になっていることを確認します。ファイルに別の拡張子 (.txt など) が付加されている場合は、その拡張子を削除します。

## 代替情報の指定に使用できるタグ

表 4-1 は、通知テンプレートを変更する際に頻繁に使用されるタグのリストとその説明です。

表 4-1 手順説明および Cisco Unified MeetingPlace の代替電話番号を通知に追加するために使用されるタグ

タグ	目的
<b>手順説明のタグ</b>	
<!--#Cisco AttendMeetingHint -->	「How to attend meeting」パラメータに入力されたテキストをすべて挿入します。 このパラメータは、MeetingTime の Configure タブの Company Information トピックの下にあります。
<!--#Cisco MeetingNotesHint -->	「How to Access MeetingNotes」パラメータに入力されたテキストをすべて挿入します。 このパラメータは、MeetingTime の Configure タブの Company Information トピックの下にあります。

表 4-1 手順説明および Cisco Unified MeetingPlace の代替電話番号を通知に追加するために使用されるタグ (続き)

タグ	目的
<b>代替電話番号のタグ</b>	
<pre>&lt;!--#Cisco AltPhoneLabel_1 --&gt; &lt;!--#Cisco AltPhone_1 --&gt;</pre>	<p>最初の代替電話番号の「Label for Notifications」パラメータに 入力されたテキストを挿入します。</p> <p>「1st Alternate Ph Number」パラメータに入力された電話番号を 挿入します。</p> <p>このパラメータは、MeetingTime の Configure タブの Telephony Access トピックの下にあります。</p>
<pre>&lt;!--#Cisco AltPhoneLabel_2 --&gt; &lt;!--#Cisco AltPhone_2 --&gt;</pre>	<p>2 番目の代替電話番号の「Label for Notifications」パラメータ に入力されたテキストを挿入します。</p> <p>「2nd Alternate Ph Number」パラメータに入力された電話番号を 挿入します。</p> <p>このパラメータは、MeetingTime の Configure タブの Telephony Access トピックの下にあります。</p>
<pre>&lt;!--#Cisco AltPhoneLabel_3 --&gt; &lt;!--#Cisco AltPhone_3 --&gt;</pre>	<p>3 番目の代替電話番号の「Label for Notifications」パラメータ に入力されたテキストを挿入します。</p> <p>「3rd Alternate Ph Number」パラメータに入力された電話番号を 挿入します。</p> <p>このパラメータは、MeetingTime の Configure タブの Telephony Access トピックの下にあります。</p>
<b>マルチサーバ会議のテキスト</b>	
<pre>&lt;!--#Cisco MultiServerHelpText This meeting will be held on the following MeetingPlace systems.  Dial the phone number of the system closest to your location. --&gt;</pre>	<p>MultiServerHelpText タグ内のテキストを挿入します。このタグ の推奨テキストはイタリックで表示されています。</p> <p>このタグは、マルチサーバ会議に関する通知だけに表示され ます。このタグは、ListMultiServers タグ (次に説明) ととも に使用してください。</p>
<pre>&lt;!--#Cisco ListMultiServers --&gt;</pre>	<p>マルチサーバ会議に関係する他の Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の名前と電話番号を挿入します。このタグは、必 ず MultiServerHelpText タグの次に指定しなければなりません。</p>
<b>会議の参加者</b>	
<pre>&lt;!--#Cisco ListInvitees --&gt;</pre>	<p>会議に招待されている参加者のリストを挿入します。</p>
<b>会議の記録</b>	
<pre>&lt;!--#Cisco fRecordConference --&gt;</pre>	<p>会議が記録されるようにスケジュールされているかどうかを 示す情報を挿入します。</p>
<pre>&lt;!--#Cisco WhoCanListen --&gt;</pre>	<p>会議の記録にアクセスできるユーザ(なし、全員、Cisco Unified MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ)を挿入します。</p>

## MeetingTime にアクセス情報を追加する方法

ご使用の環境でユーザが Cisco Unified MeetingPlace 会議にアクセスするために、場合によっては、さらに手順説明や情報を追加する必要があります。そのような情報をユーザに提供するには、MeetingTime に情報を入力し、それを利用できる通知テンプレートに対して適切なタグを追加します。次の手順を実行します。

- [手順説明に関する情報の追加 \(P.4-6\)](#)
- [代替電話番号の追加 \(P.4-6\)](#)

### 手順説明に関する情報の追加

- 
- ステップ 1** MeetingTime を起動し、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server にログインします。
- ステップ 2** File > Open Register Book > Configure をクリックします。
- ステップ 3** View ペインの Company Specific Information セクションで、Company Information をクリックします。
- ステップ 4** Query をクリックします。
- ステップ 5** Attributes ヘッダーの下で Custom Notif Text を探します。
- ステップ 6** 次のいずれかを実行します。
- **How to Attend Meeting** で、Values カラムをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスが表示されます。  
このパラメータは、タグ <!--#Cisco AttendMeetingHint --> に関連付けられています。
  - **How to Access MeetingNotes** で、Values カラムをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスが表示されます。  
このパラメータは、タグ <!--#Cisco MeetingNotesHint --> に関連付けられています。
- ステップ 7** ポップアップ ダイアログボックスで、ユーザが使用する手順説明を入力し、OK をクリックします。
- ステップ 8** Save Changes ボタンをクリックします。
- 

### 代替電話番号の追加

- 
- ステップ 1** MeetingTime を起動し、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server にログインします。
- ステップ 2** File > Open Register Book > Configure をクリックします。
- ステップ 3** View ペインの System Configuration セクションで、Telephony Access をクリックします。
- ステップ 4** Query をクリックします。
- ステップ 5** Attributes カラムの General Information セクションで、電話番号を割り当てる Alternate Ph Number パラメータを探します。

**ステップ 6** Values カラムをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスが表示されます。

このパラメータは、タグ <!--#Cisco AltPhone\_x --> に関連付けられています。

**ステップ 7** ポップアップ ダイアログボックスで、このパラメータに割り当てる電話番号を入力し、OK をクリックします。

**ステップ 8** 代替電話番号のラベルを作成するには、ラベルを作成するパラメータの下にある **Label for Notifications** パラメータで Values カラムをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスが表示されます。

このパラメータは、タグ <!--#Cisco AltPhoneLabel\_x --> に関連付けられています。

**ステップ 9** この代替電話番号に使用するラベルを入力して、OK をクリックします。

**ステップ 10** Save Changes をクリックします。

---

## 会議のスケジュールに関する通知のアクティブ化

次の処理を実行するように Cisco Unified MeetingPlace を設定できます。

- スケジュールされた会議の期限切れが近いことを会議のスケジュール担当者に通知する。
- 定例会議に参加者がいなくなったことを会議のスケジュール担当者に通知する。

これらの設定により、Cisco Unified MeetingPlace は、会議のスケジュール延長や将来の会議のキャンセルを提案する通知を会議のスケジュール担当者に送信することができます。Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime でスケジュールが作成されている場合は、これらのアプリケーションへのリンクが電子メール通知に含まれます。スケジュール担当者は、このリンクを使用して該当のアプリケーションを開き、会議のスケジュールを延長またはキャンセルすることができます。

会議のスケジュール担当者に通知を送信するように Cisco Unified MeetingPlace を設定した場合、通知のトリガーとして指定した条件が満たされると、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の該当するメールボックスに通知が入ります。Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は Cisco Unified MeetingPlace サーバのメールボックスから通知を取得し、適切な通知テンプレートを使用して電子メール通知を作成して、会議のスケジュール担当者に送信します。

会議のスケジュールについてスケジュール担当者に通知するように Cisco Unified MeetingPlace を設定するには、次の手順を実行します。

### 会議のスケジュールについてスケジュール担当者に通知するように Cisco Unified MeetingPlace を設定する

- 
- ステップ 1** MeetingTime を起動し、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server にログインします。
- ステップ 2** File > Open Register Book > Configure をクリックします。
- ステップ 3** View ペインの Company Specific Information セクションで、Scheduling Parameters をクリックします。
- ステップ 4** Query をクリックします。
- ステップ 5** Attributes カラムで、Scheduler Notifications セクションを探します。
- ステップ 6** After # No-Show Recurring Mtg の横にある Value カラムをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 7** 会議のスケジュール担当者に通知を送信するまでに、参加者不在の定例会議を許容する回数を入力し、OK をクリックします。
- ステップ 8** Periods Before Recurring End の横にある Value カラムをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 9** Cisco Unified MeetingPlace が会議のスケジュール担当者にに対してスケジュールの終了が近いことを通知する条件として、会議の残り回数を入力し、OK をクリックします。
- ステップ 10** Write to File をクリックして、変更内容を保存します。
-





## トラブルシューティング

---

この章では、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール後に発生する可能性がある問題のトラブルシューティング方法について説明します。

次の項を参照してください。

- [接続に関する問題の解決 \(P.5-2\)](#)
- [参加 \(Click-to-Attend\) リンクに関する問題の解決 \(P.5-3\)](#)
- [会議通知に関する問題の解決 \(P.5-3\)](#)
- [通知の言語に関する問題の解決 \(P.5-6\)](#)
- [通知の時間帯に関する問題の解決 \(P.5-7\)](#)
- [会議の添付に関する問題の解決 \(P.5-8\)](#)

## 接続に関する問題の解決

Q. ユーザが会議通知を受信していないのはなぜですか。

A. Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が Cisco Unified MeetingPlace Audio Server と通信していない可能性があります。次の手順を実行して、接続を確認してください。

Cisco Unified MeetingPlace イベントログを使用して Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が Audio Server システムにログインしていることを確認します。イベントログを起動するには、次の手順を実行します。

### イベントログを起動する

---

**ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているコンピュータのデスクトップのアプリケーショントレイで、Cisco Unified MeetingPlace アイコン（オレンジ色のドア）を右クリックします。

**ステップ 2** Eventlog をクリックします。イベントログが表示されます。

---

ログに MPNotify エントリが表示されていれば、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は Cisco Unified MeetingPlace Audio Server と通信しています。

ログでエラーを調べます。

MPNotify レコードが表示されない場合は、Cisco Unified MeetingPlace Gateway Utility の E-Mail Gateway タブで入力された Cisco Unified MeetingPlace Audio Server のホスト名が正しいことを確認します。Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の設定手順については、[P.3-2 の「Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用と設定」](#)を参照してください。

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway に関連付けられている Windows サービスが動作していることを確認します。次の手順を実行します。

### Windows サービスが動作していることを確認する

---

**ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているコンピュータで、**Start > Settings > Control Panel > Services** をクリックします。

**ステップ 2** 次のサービスが動作していることを確認します。

- MeetingPlace SMTP Gateway
- MeetingPlace Notification Gateway
- MeetingPlace Gateway SIM

これらのサービスが動作していない場合は、再起動します。[P.2-7 の「Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の停止と再起動」](#)を参照してください。

---

## 参加 (Click-to-Attend) リンクに関する問題の解決

- Q.** 参加 (Click-to-Attend) リンクの URL をクリックすると、JavaScript エラーを受信するのはなぜですか。
- A.** このエラーは、サポートされていない Web ブラウザを使用している場合に発生します。サポートされているブラウザは、JRE 1.4.2 を備えた Netscape 7.0 または Netscape 7.1、および Microsoft Internet Explorer 5.5 以降です。

## 会議通知に関する問題の解決

- Q.** MeetingTime または Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing を使用して会議をスケジュールすると、招待ユーザが会議通知を受信しないのはなぜですか。
- A.** この現象は、次の場合に発生します。
- 招待ユーザのプロファイルが会議通知を受信するように設定されていない。
  - 会議のスケジュール担当者のプロファイルが会議通知を送信するように設定されていない。
  - 会議のプリファレンスが会議通知を送信するように設定されていない。
  - 通知が Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway によって送信されていない。
  - システム通知が配信用にキューイングされていない。
  - Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が間違ったメールボックスにマッピングされている。
  - 企業の電子メール サーバ、または Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているサーバのハード ドライブに十分な領域がない可能性がある。
  - 企業の電子メール サーバが通知を配信していないか、または遅延している。

次の手順を実行して、招待ユーザのプロファイルを調べます。

### 招待ユーザのプロファイルを調べる

- 
- ステップ 1** MeetingTime にログインします。
- ステップ 2** File > Open Register Book > Configure をクリックします。
- ステップ 3** User Information セクションで、User Profiles > Query をクリックします。
- ステップ 4** Attributes カラムで、Receiving Notifications 領域までスクロールし、ユーザが通知を受信できるようにパラメータが設定されていることを確認します。
- ステップ 5** Preferred Delivery Method パラメータが E-mail に設定されていることを確認します。
- ステップ 6** E-Mail Address フィールドの電子メール アドレスがユーザの正しい値になっていることを確認します。
-

次の手順を実行して、会議のスケジュール担当者のプロフィールを調べます。

#### 会議のスケジュール担当者のプロフィールを調べる

---

- ステップ 1** MeetingTime にログインします。
  - ステップ 2** File > Open Register Book > Schedule をクリックします。
  - ステップ 3** User Information セクションで、User Profiles > Query をクリックします。
  - ステップ 4** Sending Notifications 領域で、「Enabled for this Meeting」パラメータが Yes に設定されていることを確認します。
- 

次の手順を実行して、Participant Notification Status ウィンドウを調べます。

#### Participant Notification Status ウィンドウを調べる

---

- ステップ 1** MeetingTime にログインします。
  - ステップ 2** File > Open Register Book > Configure をクリックします。
  - ステップ 3** User Information セクションで、User Profiles > Query をクリックします。
  - ステップ 4** Notification Status ウィンドウで、通知が配信用にキューイングされ、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway によって送信されることを確認します。
- 

次の手順を実行して、システム通知キューのステータスを調べます。

#### システム通知キューのステータスを調べる

---

- ステップ 1** MeetingTime にログインします。
  - ステップ 2** File > Open Register Book > System をクリックします。
  - ステップ 3** Notification Queue Status > Execute をクリックして、Server Notification Status ウィンドウを開きます。
  - ステップ 4** 通知が配信用にキューイングされていることを確認するには、ステータスを表示する対象のエントリをクリックします。Disposition ペインにステータス情報が表示されます。
  - ステップ 5** Done をクリックします。
-

次の手順を実行して、メールボックスのマッピングが正しいことを確認します。

### メールボックスのマッピングを確認する

- 
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているデスクトップで、次のいずれかを実行します。
- **Start > Programs > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Gateway Configuration > E-Mail Gateway** をクリックします。
  - ツールトレイの MeetingPlace アイコン（オレンジ色のドア）をクリックします。
- ステップ 2** MeetingPlace Mailbox フィールドの値を確認します。
- ステップ 3** MeetingTime にログインします。
- ステップ 4** **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
- ステップ 5** Company Specific Information セクションで、**Usage Parameters > Query** をクリックします。
- ステップ 6** Email/GW Mapping セクションまでスクロールして、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で通知の送信に使用する企業の電子メール サーバのタイプを探します。
- ステップ 7** Value フィールドの値と MeetingPlace Mailbox の値が同じであることを確認します。
- 

最後に、企業の電子メール サーバ、および Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているサーバのハード ドライブに十分な領域があることを確認します。いずれかのハード ドライブがいっぱいになっている場合は、不要な電子メールやファイルを削除して、領域を増やします。

## 通知の言語に関する問題の解決

Q. ユーザが選択した言語でなく英語の通知を受信するのはなぜですか。

A. この現象は、次の場合に発生します。

- 招待ユーザがゲストであり、会議のスケジュール担当者が会議の言語を英語に設定している。招待ユーザはユーザ プロファイルを持っていないため、通知の言語はデフォルトで会議の言語になります。
- 招待ユーザのプロファイルで、英語以外の言語がプロファイルの言語として指定されていない。

次の手順を実行して、招待ユーザのプロファイルを調べます。

### 招待ユーザのプロファイルで言語の設定を調べる

- 
- ステップ 1** MeetingTime にログインします。
  - ステップ 2** **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
  - ステップ 3** User Information セクションで、**User Profiles** をクリックします。
  - ステップ 4** **Find Records** ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
  - ステップ 5** このユーザのレコードを検索する方法のオプション ボタンをオンにして、「Begins with」フィールドに適切な値を入力します。Find Records ペインにユーザのプロファイルが表示されます。
  - ステップ 6** Attributes カラムで、**Language** を探します。
  - ステップ 7** Value カラムで、言語が正しいことを確認します。
  - ステップ 8** 言語を変更するには、Value カラムの現在の値をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
  - ステップ 9** このユーザに使用する言語を選択して、**OK** をクリックします。
  - ステップ 10** **Save Changes** をクリックします。
- 

Q. ユーザ プロファイルの言語を日本語に設定しましたが、通知が空白で送られてきます。

A. この現象は、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされている Microsoft Windows コンピュータに日本語の通知テンプレートがインストールされていない場合に発生します。

Windows コンピュータに日本語コード ページ (c\_932.nls) をインストールするには、Microsoft Web サイトで記事 ID 「Q164948」を参照してください。

## 通知の時間帯に関する問題の解決

**Q.** 受信した通知に含まれている会議の時間がユーザのローカルの時間帯ではなく、会議のスケジュール担当者の時間帯になっているのはなぜですか。

**A.** この現象は、次の場合に発生します。

- 招待ユーザがゲストである。ゲストはユーザ プロファイルを持っていないため、通知に含まれている会議の時間はスケジュール担当者の時間帯になります。
- 招待ユーザのプロファイルで、ユーザの利用する時間帯が指定されていない。

ユーザのプロファイルを設定するには、次の手順を実行します。

### ユーザのプロファイルを選択した時間帯に設定する

---

**ステップ 1** MeetingTime にログインします。

**ステップ 2** File > Open Register Book > Configure をクリックします。

**ステップ 3** User Information セクションで、User Profiles > Query をクリックします。

**ステップ 4** Attributes カラムで、変更するユーザ プロファイルを探します。

**ステップ 5** Time Zone までスクロールします。

**ステップ 6** Time Zone の横にある Value カラムをクリックします。Time Zone ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 7** ユーザの利用する場所をクリックし、OK をクリックします。

**ステップ 8** Save Changes をクリックします。

---

## 会議の添付に関する問題の解決

**Q.** MeetingTime または Web でスケジュールされた会議の添付が、招待ユーザに受信されていないのはなぜですか。

**A.** 招待ユーザが、MeetingTime または Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing でスケジュールされた会議の添付を受信していない場合は、次の2つの問題のいずれかが存在している可能性があります。

- 招待ユーザのプロファイルが添付を受信するように設定されていない。
- 会議のスケジュール担当者のプロファイルが添付を送信するように設定されていない。

次の手順を実行して、添付を受信するように招待ユーザのプロファイルを設定します。

### 添付を受信するようにユーザのプロファイルを設定する



**(注)** Microsoft Outlook を使用している場合、1人の招待ユーザに対してこのパラメータを Yes に設定すると、すべての招待ユーザに電子メール通知が配布されます。

---

**ステップ 1** MeetingTime にログインします。

**ステップ 2** File > Open Register Book > Configure をクリックします。

**ステップ 3** User Information セクションで、User Profiles > Query をクリックします。

**ステップ 4** Attributes カラムで、変更するユーザ プロファイルを探します。

**ステップ 5** Receiving Notifications までスクロールして、Include Attachments を探します。

**ステップ 6** Include Attachments の横にある Value カラムをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 7** Yes をクリックし、OK をクリックします。

**ステップ 8** Save Changes をクリックします。

---



次の手順を実行して、添付を送信するようにスケジュール担当者のプロフィールを設定します。

### 添付を送信するように会議スケジュール担当者のプロフィールを設定する

---

- ステップ 1** MeetingTime にログインします。
  - ステップ 2** **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
  - ステップ 3** User Information セクションで、**User Profiles > Query** をクリックします。
  - ステップ 4** Attributes カラムで、変更するユーザ プロファイルを探します。
  - ステップ 5** Sending Notifications までスクロールして、Include Attachments を探します。
  - ステップ 6** Include Attachments の横にある Value カラムをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
  - ステップ 7** Yes をクリックし、OK をクリックします。
  - ステップ 8** Save Changes をクリックします。
-





## 通知テンプレートで使用できるタグ

表 A-1 は、通知テンプレートで使用できるタグのリストとその定義を示しています。通知テンプレートの変更手順については、第 4 章「会議通知のカスタマイズ」を参照してください。

表 A-1 通知テンプレートのタグ

推奨ラベル	タグ	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco AttendMeetingHint -->	How to Attend Meeting パラメータ( Configure タブの Company Information トピックの下にある ) に入力されたテキストをすべて挿入します。
Scheduler ( スケジュール担当者 )	<!--#Cisco SchedulerFirstName --> <!--#Cisco SchedulerLastName -->	スケジュール担当者の氏名を挿入します。
Scheduler phone ( スケジュール担当者の電話番号 )	<!--#Cisco SchedulerTelephoneNum -->	スケジュール担当者の電話番号を挿入します。
Scheduler fax ( スケジュール担当者のファックス番号 )	<!--#Cisco SchedulerFaxNum -->	スケジュール担当者のファックス番号を挿入します。
Scheduler e-mail ( スケジュール担当者の電子メール )	<!--#Cisco SchedulerEmail -->	スケジュール担当者の電子メール アドレスを挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco MultiServerHelpText <i>This meeting will be held on the following MeetingPlace systems.</i>  <i>Dial the phone number of the system closest to your location. --&gt;</i>	MultiServerHelpText の後ろに入力されたテキストをすべて挿入します。このタグの推奨テキストはイタリックで表示されています。  このタグは、マルチサーバ会議に関する通知だけに表示されます。このタグは、次の ListMultiServers タグとともに使用してください。
Number of ports ( ポート数 )	<!--#Cisco nLoc -->	会議のポート数を挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco ListMultiServers -->	マルチサーバ会議に関係する他の Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の名前と電話番号を挿入します。このタグは、必ず MultiServerHelpText タグの次に指定しなければなりません。
MeetingPlace phone number ( MeetingPlace の電話番号 )	<!--#Cisco Mtg_TelephoneNum -->	Cisco Unified MeetingPlace のメイン電話番号を挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco AltPhoneLabel_1 --> <!--#Cisco AltPhone_1 -->	最初の Cisco Unified MeetingPlace の代替電話番号とラベルを挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco AltPhoneLabel_2 --> <!--#Cisco AltPhone_2 -->	第 2 の Cisco Unified MeetingPlace の代替電話番号とラベルを挿入します。

表 A-1 通知テンプレートのタグ (続き)

推奨ラベル	タグ	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco AltPhoneLabel_3 --> <!--#Cisco AltPhone_3 -->	第 3 の Cisco Unified MeetingPlace の代替電話番号とラベルを挿入します。
Meeting ID ( 会議 ID )	<!--#Cisco MTGID -->	会議 ID を挿入します。
Meeting date ( 会議の日付 )	<!--#Cisco Month --> <!--#Cisco Month language=006 --> <!--#Cisco Day -->, <!--#Cisco Year -->	会議の日付を挿入します。 数字のタグにより、言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。
Start time (hh:mm) ( 開始時刻 ( hh:mm ) )	<!--#Cisco Hour -->: <!--#Cisco Min --> <!--#Cisco AMPM --> <!--#Cisco AMPM language=006 --> <!--#Cisco TimeZone -->	会議の開始時刻を挿入します。 数字のタグにより、特定の言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。
Frequency ( 頻度 )	<!--#Cisco ReOccuringConference --> <!--#Cisco ReOccuringConference language=006 -->	会議の頻度 ( 週次、月次など ) および開催回数を挿入します。 数字のタグにより、言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。
Meeting name ( 会議名 )	<!--#Cisco TextName -->	会議名を挿入します。
Meeting length (min)( 会議の所要時間 ( min ) )	<!--#Cisco Len -->	会議の所要時間を挿入します。
Meeting password ( 会議パスワード )	<!--#Cisco C_Password -->	会議パスワードが割り当てられている場合に、そのパスワードを挿入します。
Meeting description( 会議の説明 )	<!--#Cisco AttList_MeetingDesc -->	会議のスケジュール担当者が Meeting Description ボックスに入力したテキストを挿入します。
Meeting participants ( 会議の参加者 )	<!--#Cisco ListInvitees -->	会議に招待されている参加者のリストを挿入します。
Who can attend meeting( 会議の参加者の資格 )	<!--#Cisco EntryRestriction -->	会議に参加できるユーザ ( 全員、Cisco Unified MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ ) を挿入します。
Screened introduction( 入席ユーザの選別 )	<!--#Cisco fScreenedIntroduction -->	会議に参加しようとしているユーザの入席が、すでに会議に参加しているユーザによって選別されるかどうかを示す情報を挿入します。
Default ability ( デフォルトの会議形式 )	<!--#Cisco DefaultAbility -->	ディスカッション形式の会議か講義形式の会議かを示す情報を挿入します。

表 A-1 通知テンプレートのタグ (続き)

推奨ラベル	タグ	説明
Previous meeting month( 前回の会議の月 )	<!--#Cisco MonthPrev --> <!--#Cisco MonthPrev language=006 -->	前回の会議の月を挿入します。 数字のタグにより、特定の言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。
Previous meeting day( 前回の会議の日 )	<!--#Cisco DayPrev -->	前回の会議の日を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting year ( 前回の会議の年 )	<!--#Cisco YearPrev -->	前回の会議の年を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting hour ( 前回の会議の時刻 ( 時間 ) )	<!--#Cisco HourPrev -->	前回の会議の時刻 ( 時間 ) を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting minute ( 前回の会議の時刻 ( 分 ) )	<!--#Cisco MinPrev -->	前回の会議の時刻 ( 分 ) を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting time of day( 前回の会議の時刻 ( 午前 / 午後 ) )	<!--#Cisco AMPMPPrev --> <!--#Cisco AMPMP Prev language=006 -->	前回の会議の時刻 ( 午前 / 午後 ) を挿入します。 数字のタグにより、特定の言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Recurring meeting change( 定例会議の変更 )	<!--#Cisco AllOrOne -->	定例会議で、将来の特定の会議またはすべての会議が変更またはキャンセルされたかどうかを通知する情報を挿入します。 notifyrechedule.tpl および notifiycancel.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
MeetingNotes	<!--#Cisco MeetingNotesHint -->	How to Access MeetingNotes パラメータ( Configure タブの Company Information トピックの下にある )に入力されたテキストをすべて挿入します。
Record conference ( 会議の記録 )	<!--#Cisco fRecordConference -->	会議が記録されるようにスケジュールされているかどうかを示す情報を挿入します。
Who can access the recording( 会議の記録にアクセスできるユーザ )	<!--#Cisco WhoCanListen -->	会議の記録にアクセスできるユーザ ( なし、全員、Cisco Unified MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ ) を挿入します。

表 A-1 通知テンプレートのタグ (続き)

推奨ラベル	タグ	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco ReschedReason -->	前回スケジュールされた会議の変更点(新しい日付、時刻、添付など)を説明したテキストを挿入します。  notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco MCUServiceCode-->	サービス プレフィクスを挿入します。このプレフィクスが会議 ID に付加されてビデオ会議 ID になります。ビデオ エンドポイントを使用する参加者は、会議のビデオ部分に参加するためにこの会議 ID を入力する必要があります。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco VideoPhoneMain -->	ビデオ エンドポイントを使用する参加者が Cisco Unified MeetingPlace にアクセスするためにダイヤルする必要のある電話番号を挿入します。
Invited terminals (招待された端末)	<!--#Cisco ListTerminals -->	会議に招待されているビデオ端末のリストを挿入します。
Video management (ビデオ管理)	<!--#Cisco RadInSessionCtrlUrl -->	会議にセッション中のビデオ コントロール機能を追加するための Cisco Unified MeetingPlace Video Administration にハイパーリンクを挿入します。
Meeting category (会議のカテゴリ)	<!--#Cisco MeetingCategory -->	スケジュール担当者が選択した会議のカテゴリを挿入します。

表 A-2 は、タグで使用できる言語のマッピングを示します。

表 A-2 言語のマッピング

言語	マッピング
フランス語	language=004
ドイツ語	language=005
日本語	language=006
スペイン語	language=014
ポルトガル語	language=015



<b>A</b>		<b>W</b>	
Alarm Table、ゲートウェイ エラーのログ	3-6	Windows サーバ、要件	2-2
<b>C</b>		<b>い</b>	
Cisco MCS の要件	2-2	イベントログ、接続の確認に使用する	5-2
Cisco Unified MeetingPlace Audio Server		<b>お</b>	
ホスト名	2-2	オプション キーの要件	2-2
要件	2-2	<b>さ</b>	
Cisco Unified MeetingPlace Gateway Configurations ユーティリティ		参加リンク、設定	3-4
Gateway SIM	3-2	<b>て</b>	
~ について	3-2	定例会議	
Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM		参加者がいなくなった場合の電子メール通知	4-8
ゲートウェイ停止の検出	3-6	終了時の電子メール通知	4-8
設定、変更	3-6	電子メール通知	
パラメータ、設定	3-7	MeetingTime で使用する	4-6
Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway		アクセス情報を追加する	4-6
インストール	2-1, 2-4	会議のスケジュールに関する	4-8
インストールの準備	2-2	カスタマイズに使用するタグ	4-3
設定	3-1	キューのステータス	5-4
~ について	1-1	テンプレート	4-1
Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール	2-1, 2-4	テンプレート タイプ	4-3
Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバのホスト名	2-2	テンプレートのカスタマイズ	4-2
<b>J</b>		テンプレートの言語	4-2
Java エラー	5-3	~ について	1-2
<b>M</b>		パラメータ	3-4
Microsoft Outlook、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の使用	5-8	不正な言語の	5-6
		不正な時間帯	5-7
		編集方法	4-4

電子メール通知テンプレートのカスタマイズに使用するタグ 4-3

添付、トラブルシューティング テンプレート 5-8

電子メール通知に使用するタイプ 4-3

電子メール通知の 4-1

と

トラブルシューティング

Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が  
Cisco Unified MeetingPlace Audio Server に接続していない 5-2

電子メール通知

不正な言語の 5-6

不正な時間帯の 5-7

添付が受信されない 5-8

に

認証オプション

アカウント名とパスワード 2-2, 2-5

~ について 2-5

ふ

ブラウザ、バージョン 5-3

ゆ

ユーザ プロファイル

電子メール通知を受信しない場合のトラブル  
シューティング 5-4

添付を受信しない場合のトラブルシューティング  
5-8